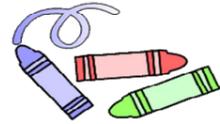


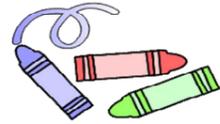
令和6年(2024年)版

Yomo Yomo

～10代のあなたに～



自分らしく



ささもり
『笹森くんのスカート』

こうべはるま 神戸遥真／著 みずす／画 講談社 2022年発行

ジェンダーフリー制服を導入している作草部高校。笹森くんが、二期からスカートはを穿いて登校してきた。どうしてスカートを穿いているのか、理由を聞かれると「穿いてみたかったから」と笹森くんは答える。スカートを穿く理由も意味も、なんだっていい。笹森くんと彼のクラスメイト四人をめぐる物語。



『6カ国転校生ナージャの発見』

キリーロバ・ナージャ／著 集英社インターナショナル 2022年発行

転校するたびに「ふつう」がひっくり返る！ ロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダの6カ国で小中学生時代を過ごした著者は、「人見知り」の能力を活かし、各国の違いを客観的に観察。筆記用具、座席の配置、ランチ……違いとその意味を考えるとお国柄くにからが見えてくる。自分の当たり前がゆらぎ、新たな世界が広がっていく。

きみいろ
『君色パレット 多様性をみつめるショートストーリー』

ちょっと気になるあの人』

ともし 戸森しるこ ひこ・田中 吉田桃子 ももこ 魚住直子／著 かな 佳奈／絵 岩崎書店 2022年発行

たようせい 多様性をテーマに、主人公とまわりの人々との関わりを描く短編集。友だちや家族との関係、好きなものや大切にしていることの違いなど、悩み、とまどいながらも、自分自身の考えを見つけようとする主人公たち。色々な考えが混ざり合ったら、きっと世界はもっと広がる。そんな気持ちになれる「君色パレット」シリーズです。



キュート
『スペシャルQトなぼくら』

きさらぎ 如月かずさ／著 講談社 2022年発行

優等生の久瀬君の秘密を、ぼくは知っている。彼とは仲の良い友達だけど、おしゃれな服やかわいいアクセサリを身につけ、メイクをしている久瀬君をうらやましく思う一方で、正体不明のもやもやとした気持ちがぼくの胸の中でふくらんでいく。自分の性別に違和感を持ちながらも、その不可解さに悩む中学生のキュートな物語。



『自分サイズでいこう 私なりのボディポジティブ』

はら hara／著 KADOKAWA 2021年発行

体型をいじられることが多かった著者のharaさんは、中学生の時、軽い気持ちでダイエットを始めます。急激な体重減少とその反動で起こる過食。他人からどう見えるのかばかりを気にし、自分を否定することしかできないどん底の日々から、「自分はこれでいいんだ」と思えるようになるまでを描いた、コミックエッセイです。

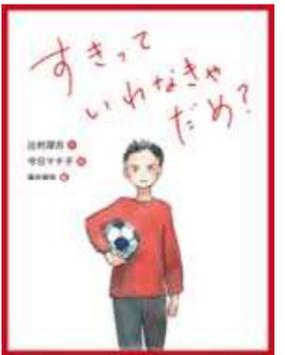


『すきっていわなきゃだめ？』

つじむらみづき 辻村深月／作 きょう 今日マチ子／絵 たきいあさよ 瀧井朝世／編

岩崎書店 2019年発行

ぼくの小学校では好きな人に「すき」と言うのが流行っている。友だちから好きな人のことを聞かれて、ぼくはすぐに答えられなかった。でも本当はぼくはこうくんが好きだ。そんな時、こうくんが友だちが「すき」って言っているのを見て、ぼくの心はゆれうごく。「すき」という恋の形を感性豊かに描いた絵本。



編集・発行：箕面市立図書館 箕面市立小・中学校図書館
問い合わせ先：箕面市立中央図書館
TEL 072-722-4580 FAX 072-724-9697
発行日：令和6年(2024年)1月



箕面市立図書館
ホームページ

☆YomoYomoは箕面市立図書館のホームページからも確認できます。

箕面市立図書館 おすすめの本

検索

司書のおすすめ！！

ベストセクション

どの本を読んでも面白いよ♪

『なんでもない一日の辞典』

山口 遼司 / 著 水元さきの / illustration WAVE 出版 2022 年発行

目覚めからの一日を一時間ごとに切り取り、浮かんできた言葉を紹介した辞典です。例えば、6:00AMでは、「まぶしい」から連想される「**さんらん**」「**きらめく**」といった言葉の語釈と用例が載っています。あなたが感じる「今」を写真ではなく「言葉」にしてみてください。なんでもないことが意味あることにみえてきます。



『ぼくたちはまだ出逢っていない』

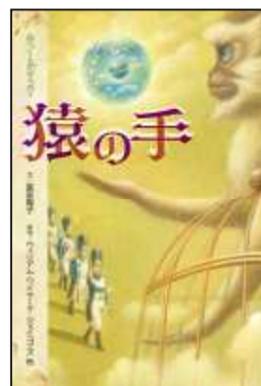
八束 澄子 / 著 ポプラ社 2022 年発行

父がイギリス人、母が日本人の中三の**りく**は、バスケット部の豪大から暴力を振るわれるようになったことを家族に言えない。母の再婚に伴い京都に引っ越してきた中二の**みう**は、新しい家族の中に居場所のなさを感じる。そんな二人が**きんづ**ぎを通して知り合う。一度壊れた器を漆によりまたつなぎ合わせるその技が、二人を変えていく。

『ホラー・クリッパー 猿の手』

ウィリアム・ワイマーク・シェイコブズ他 / 原作 富安陽子 / 文
アンマサコ / 絵 ポプラ社 2023 年発行

一人、三つずつ、三人の願いが叶えられるが、災いも起こるといふ不吉な魔術をかけた「猿の手」。友人からこの話を聞いたホワイト一家は、好奇心で「猿の手」に願い事をしてしまう。一つ目の願いが叶う時、一家に悲劇が訪れる。残りの願い事は悲劇を止められるか。表題作他、「不思議な下宿人」「魔法の店」の三作品を収録。



『27000冊ガーデン』

大崎 梢 / 著 双葉社 2023 年発行

「本について相談したいことがあったらなんでも声をかけてね」高校の図書館司書の星川のもとに、生徒から相談が寄せられる。本の相談といっても、人命に関わる事件など、一大事ばかりだ。それらを星川が聞き取り、出入りの書店員、針谷が洞察し、決め手となる本によって解決する。学校図書館は雑多でミステリアスだ。

『かわいい子ランキング』

ブリジット・ヤング / 作 三辺 律子 / 訳 ほるぷ出版 2022 年発行

学校の「かわいい女の子ランキング」がみんなのスマホに送られてきた。詩が好きでおとなしいイヴは、一位になったことで急に注目されるようになって苦しみ、何でも一番であろうとしてきたソフィーは、自分が二位だったことに腹を立てる。イヴ、ソフィー、イヴの親友ネッサの三人は、ランキングを作った犯人に復讐しようと決意する。



『お菓子の箱だけで作る 空箱工作』

はるきる / 著 ワニブックス 2019 年発行

お店の棚から選んだお菓子。どこにひかれて手に取りましたか？もしかしてパッケージデザイン？だったら食べた後、その箱をすぐに捨ててしまうのはもったいない。空箱職人はるきるさんの手にかかれば、空箱が見事なアート作品に生まれ変わる！これからは空箱を捨てられなくなるかもしれませぬ。

『小さな詩の本 TOUCH YOUR HEART The Little Book of Poetry』

川口晴美 / 監修 リベラル社 / 編 リベラル社 2022 年発行

手の中に収まるほどの小さな本。開くとそこには無数の美しい言葉が並んでいます。日本と外国の素晴らしい詩を「愛」「生」「嘆」「愉」「歌」のテーマに分けて紹介しています。自分の気持ちをうまく言葉にできない時は、詩人たちの言葉に触れてみませんか。きっとあなたに寄りそってくれる一編が見つかるでしょう。

